

授業と評価の年間計画

教科	データサイエンス	科目	データサイエンス
使用教科書（発行所）	独自教材		
履修条件 対象生徒	必修 普通科 1年		
学習目標	<p>課題研究活動を通して、課題を発見し、解決する能力や発信力、コミュニケーション能力を育成する。</p> <p>また、産学と連携したデータサイエンスによる課題研究を実施することにより文理や教科の枠を超えてビッグデータを利活用できる人材を育成する。</p>		
学習方法	<p>【授業】 座学、実習、課題研究を中心に授業を行う。情報を収集し、データを適正に処理・分析し考察したり、研究内容をまとめ発表したりするために、主体的・意欲的かつ協働的に取り組む。</p> <p>【家庭】 論文やポスターなどの課題を提出期限に間に合うように作成する。</p>		
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) データサイエンスとは何か (2) データサイエンスの意義 (3) データサイエンス講演会 (4) データマーケティング基礎講座 (5) 課題研究基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会、全体指導を通して、活動の意義について理解する。 ・基礎的な内容について、ホームルーム単位学習し、データの処理や分析の方法について学習する。 ・基礎的な知識や技術の定着を図る。 	
	2 2学期 (1) 課題の発見 (2) 研究計画の作成 (3) 調査・研究 (4) 中間発表、相互評価	<ul style="list-style-type: none"> ・グループまたは個人でテーマを選択して調査・研究を行う。 ・課題研究の方法と技術の定着を図る。 ・発表する態度、聞く態度について身に付ける。 	
	3 3学期 (1) 調査・研究 (2) 論文、ポスターの作成 (3) 研究成果の発表	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を論文やポスターにまとめるための知識を身に付ける。 ・成果を発表・発信するために力を身に付ける 	
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	身の回りの事物や現象・生活に関心や探究心をももち、意欲的に取り組もうとする科学的態度を身に付けている。データを適切に収集・処理し、結果を科学的かつ客観的に分析・考察ができる。的確に表現することができる。	課題研究を通して、情報分析の方法を習得し、その過程や結果を的確に整理し、表現することができる。	データサイエンスの意義や基礎的な知識や手法を理解し、自ら課題を発見し、意欲的に探究活動に取り組むことができる。
評価方法	授業・実習・研究活動に取り組む姿勢、研究内容・発表について自己評価及び相互評価等を用いて総合的に判断して評価する。		
その他	スーパーサイエンスハイスクールとしての本校独自の取組の一環として行う。		